

●平成27年3月2日発行

P/T/A

150号

発行●一般社団法人岩手県PTA連合会
盛岡市みたけ三丁目38-20 ☎641-6444

印刷・山口北州印刷(株)

盛岡市青山四丁目10-5 ☎641-0585

いわて

主な内容

- ・日本PTA全国協議会表彰式 …………… 2
- ・祝 文部科学大臣表彰…………… 3
- ・平成26年度年次表彰式 …………… 4
- ・閉校を迎える単位PTAへ感謝状贈呈 … 5
- ・市町村PTA連合会の活動報告 …………… 6
- ・提言「すべては子どもたちの笑顔のために」… 7
- ・北から南から「特色あるPTA紹介」…… 8



16年続く
収穫祭

滝沢市立滝沢小学校PTA提供

活動
目標

すこやかに育て いわてっ子

E-Mail : pta@iwate-pta.or.jp

URL : <http://www.iwate-pta.or.jp>

礎を次世代へ引き継ぐー

平成26年度 日本PTA全国協議会表彰式

日本PTA全国協議会の平成26年度年次表彰式が東京・千代田区のホテルニューオータニにおいて開催された。本県の受賞者、受賞団体の方々は次の方々です。
(敬称略)

※優良PTA文部科学大臣表彰

一関市立山目小学校PTA
(会長 三浦 敏)

遠野市立鱒沢小学校PTA
(会長 菊池 錠二)

※日本PTA会長表彰(団体)

盛岡市立厨川小学校PTA
(会長 鈴木 篤子)

遠野市立遠野中学校PTA
(会長 熊谷 義弘)

※日本PTA会長表彰(個人)

川村 清

(平成24～25年度理事・副会長)
遠藤 武敬

(平成25年度理事・副会長)
吉田 和洋

(平成25年度理事・副会長)
菅原 照之

(平成25年度理事・副会長)

祝 日本PTA会長表彰(団体)

伝統を引き継ぎ、新たな一歩に向けて

盛岡市立厨川小学校PTA

厨川小学校は昨年度、百四十周年を迎えた児童数約370名の学校です。

学校には、自慢の「もぐもぐ荘・自然観察園」があり、子どもたちは動物とのふれあいを楽しんでいます。造成以来40年になりますが、維持できているのはPTAの協力あつてのことと自負しています。

現在、飼育しているウサギやクジャク等の世話は子どもたちが中心になって行っていますが、PTAが餌や清掃等をサポートしています。中でも主となる活動が、自然観察園委員会が企画する観察園掃除です。年に六回、土曜の朝に学年単位で、草取りや落ち葉の片づけ等を行います。今年度は、親子での参加を呼びかけたところ、毎回六十名を超す参加がありました。親がやり方を教えたり子どもが親



に動物の世話の仕方を教えたり、季節を感じながらの作業はほっとするふれあいの時間となりました。この他に、ベルマーク委員会や安全に関する活動をする校外指導委員会、地域と連携して活動する地区PTA等、活発に活動が展開されています。

このように継続して取り組んできたことが、この度の受賞に繋がったと先輩の皆様

感謝の気持ちでいっぱいです。受賞を機に、伝統の良さを受け継ぎながらも、現状にあった活動や組織のあり方等

地域に根ざし、活動を継続

遠野市立遠野中学校PTA

遠野中学校PTAは、この度、県P連のご推薦を頂き、平成26年度日本PTA会長表彰を受賞することができました。これは統合前の旧遠野中学校・旧綾織中学校・旧附馬牛中学校の歴代の会長・役員をはじめ、PTA会員、教職員、地域の皆様方、各関係機関のご支援・協力の賜であると深く感謝申し上げます。

旧三中学校PTAは、資源回収作業や郷土芸能活動支援、花火大会清掃作業支援など、熱心かつ地域に根ざした活動を長年にわたって継続してまいりました。それらの活動方針や内容は、二年前に統合し開校した新遠野中学校PTAにおいても受け継がれています。また、平成二十五～二十六年度は上閉伊地区PTA連絡協議会の事務局も務め、二十五年十二月に岩手県PTA連合会家庭教育セミナーを中心になって企画・運営しました。サブテーマに『震



災を通して見つめ直す地域の絆』を掲げ、本田敏秋遠野市長さんの基調講演や、被災地で復興活動を進める三名によるトークライブ等を行い、成功に収めることができました。これからも皆様にご支援ご協力を頂きながら、子どもたちのために地域・学校と連携し、活動を推進していきたいと思います。
(会長 熊谷 義弘)

祝 文部科学大臣表彰

親も子どもと共に成長を

一関市立山目小学校PTA

この度、平成26年度優良PTA文部科学大臣表彰を受賞することができました。歴代の先輩方が積み重ねてきた土台や功績があったからこそと深く感謝申し上げます。

本校PTAは、1945年に設立し、広報紙の発行や環境・景観美化活動、会員の研修会を継続して行っています。学区内の笹谷地区ではホタル観察会を毎年行い、地域の豊かな自然を活用していま

す。広報紙「蘭梅」は30年以上の歴史があり、現在は年9回発行し、趣味や特技を盛り込んだ教員紹介、会長と校長の対談、新入生の親の心構えなどを掲載するほか、4コマ漫画や児童が考えた俳句を掲載するコーナーを設けるなど内容にも力を入れています。毎週広報委員会を開催し、年間テーマを決め、記事、写真、レイアウトなど常に話し合いながら改善を図ってきました。本年度の県PTA広報コンクールで、2度目の最優秀賞を頂くことができました。

今後とも伝統ある広報紙を通じて、親同士の交流や向上を図るとともに、保護者も子どもと一緒に地域で活躍できるように、今後も様々な行事を企画し、地域・学校と連携し、活動を推進していきたいと思

います。
(会長 三浦敏)



地域とともに活動する私たちのPTA

遠野市立鱒沢小学校PTA

この度は、私たち全校児童47名の小さな学校のPTAが文部科学大臣表彰という名誉ある表彰をいただきました。この場をお借りしまして関係各位の皆様に対し、これまでのご指導、ご支援に感謝いたします。

本校PTAの大きな特色は、学校が地域活動の拠点になっていることです。顔の見える地域の学校は誰もが気軽に訪れることができる開放的な雰囲気、行事にも多くの方々に参加いただいています。さらに地域住民がPTA

会員であり、会員総勢285名のうち243名が準会員として支えて頂いているほか、郷土芸能の伝承活動、資源回収活動などにも惜しまず協力

いただいています。

私たちがPTAもこのような地域の方々の協力や期待に

応えるべく、子どもが目標を立てて家庭内で取り組む、いわゆる学校にある「まなびフェスタ」の家庭版「そだてフェスタ」の取り組み、子どもが実際に歩いて危険箇所を確認してまとめた「安全マップ」の製作や平成24年度県PTA

広報コンクール県最優秀賞並びに市内広報コンクール3年連続最優秀賞を成し遂げている広報紙づくりなど力を入れて活動しています。

本校PTAは平成28年度で結成40年という一つの節目を迎えます。少子化が叫ばれる昨今ではありますが、これからも家庭、学校、地域など多くの方々と互いに手を取りながら、将来を担う「ますっ子」



のために一層充実した活動に取り組んでまいりたいと思います。
(会長 菊池錠二)

平成27年度県P連関連の主な行事予定

- 4月16日
第1回正・副会長会議
(年8回開催)
- 4月18日
決算監査
- 5月8日
第1回理事会(年4回開催)
- 5月13日
広報コンクール審査会
- 5月15日
地区・市町村事務局長会議
- 5月30日
第1回母親委員会
(年4回開催)
- 6月7日
定時社員総会
- 7月7日
第1回共済金審査委員会
(年3回開催)
- 7月11日
PTAリーダー(単位PTA
会長)研修会
- 8月6日
共済事業担当者事務説明会
- 9月18日
三行詩コンクール審査会
- 9月
家庭教育セミナー岩手地区
セミナー(葛巻町)
- 10月3~4日
東北ブロック研究大会
巨理・山元大会
- 10月23日
専門委員会
- 11月6日
中間監査
- 11月
家庭教育セミナー花巻地区
セミナー(花巻市)
- 11月29日
年次表彰式
- 3月5日
臨時社員総会

平成26年度 年次表彰式

一般社団法人岩手県PTA連合会平成26年度年次表彰式が11月30日(日)ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイングで岩手県教育委員会八重樫勝委員長、岩手県市町村教育委員会協議会会長の星野勝利様はじめ、多数のご来賓の出席を頂き、総勢160余名の式では、金谷茂会長の挨拶に続き、岩手県PTA連合会

式では、金谷茂会長の挨拶に続き、岩手県PTA連合会



三行詩コンクール並びに広報コンクール入賞者に表彰状と記念の楯が贈呈された。

年次表彰式では、第46回東北ブロック研究大会を主管した盛岡市PTA連合会と前副会長の5名に感謝状と記念品が贈呈された。また、団体表彰29、個人表彰56名の方々に表彰状が贈呈された。表彰式に続いて祝賀会が行われ、お互いの親睦を深め合いながら、和やかな雰囲気の中に閉会した。

感謝状受賞者

団体

盛岡市PTA連合会：第46回東北ブロック研究大会兼岩手県PTA研究大会主管

個人(順不同敬称略)

野場 秀輝 (前本会副会長)
川村 清 (前本会副会長)
遠藤 武敏 (前本会副会長)
吉田 和洋 (前本会副会長)
菅原 照之 (前本会副会長)

年次表彰受賞者

団体表彰(順不同敬称略)

(盛岡市)高松小学校PTA・東松園小学校PTA・飯岡中学校PTA (八幡平市)西根中学校P

TA (岩手町)浮島小学校PTA (滝沢市)滝沢東小学校PTA (紫波町)佐比内小学校PTA (矢巾町)矢巾東小学校PTA (花巻市)花巻北中学校PTA (北上市)北上北中学校PTA (西和賀町)沢内小学校PTA (奥州市)母体小学校PTA (南都田中学校PTA (一関市)山目中学校PTA・中里中学校PTA・日形小学校PTA (平泉町)長島小学校PTA (大船渡市)赤崎中学校PTA (陸前高田市)第一中学校PTA (遠野市)遠野西中学校PTA (宮古市)川井西小学校PTA・和井内小学校PTA (山田町)荒川小学校PTA (岩泉町)安家小中学校PTA (久慈市)久慈小学校PTA・久慈中学校PTA (二戸市)浄法寺中学校PTA (二戸市)一戸南小学校PTA

個人表彰(順不同敬称略)

(盛岡市)高橋弘・繁田秀一・近藤光徳・日山健一・池野直友・佐藤康之・門脇洋子 (八幡平市)津志田武弘(兼石町)栗木将史(葛巻町)皆川勝幸(岩手町)伊藤武志・山中義一(滝沢市)小川裕継(紫波町)佐々木勉(矢巾町)豊岡勝敏(花巻市)小原康二・吉田和洋・晴山英樹・畑山えり子(北上市)佐藤真弘・狩野弘之(西和賀町)高橋悟(奥州市)菊地和広・佐藤晃・山下明・菊地弘樹・佐

藤猛(一関市)菅原照之・鈴木こずえ・小野寺雄治・武田和也・菊池聡・佐藤和久・菊地輝昭(平泉町)千葉秀寛(大船渡市)白木澤隆博・平山友之(陸前高田市)熊谷真紀・千葉敏之(住田町)今野俊朗(遠野市)熊谷義弘・小島美代子(宮古市)齊藤義治(山田町)佐々木恵美子(岩泉町)山岸知成(田野畑村)佐藤博明(久慈市)沢口工・野場正志・三浦修悦(洋野町)中村昭夫(野田村)小谷地勝(二戸市)佐藤政孝(軽米町)鶴飼靖紀(九戸村)小松智樹(二戸町)東野浩一郎・田中猛

祝 三行詩コンクール

早寝早起き朝ごはん
全国協議会会長賞
我が家の食卓
かかせぬおかずは
「その日の出来事」
正部 大輝君
(遠野市立遠野中学校)

祝 広報コンクール

日本教育新聞社社長賞
「東風」
一関市立一関東中学校PTA

〈岩手県PTA連合会会報「PTAいわて」〉 PTAの活動情報を伝え、 交流を支えて150号達成!

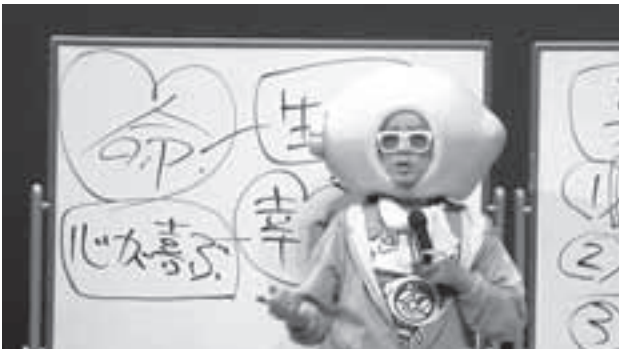
岩手県P連は平成27年に65周年を迎えます。県P連結25周年(昭和50年)に会報「PTAいわて」を創刊、以来、平成4年からは現在のA4判8ページ版で無料配布となり、今回、150号に到達しました。当時はB5判16ページ、年5回の発行で有料。なお県P連結後の昭和34年と43年にも創刊記録があり、通算ではさらに多いと見込まれます。現在、発行部数は約15000部で県内の全単位PTAや関係機関に配布される他、ホームページにも掲載、PTAの活動紹介や広報・啓発活動に努めています。



第19回家庭教育セミナー 気仙地区セミナー開催

「支えあい つながる喜び 家族の和」
 ～今、親としてできること 地域としてできること～

12月14日(日)平成26年度第19回気仙地区セミナーが住田町の農林会館で開かれ、気仙地区を中心に第4ブロックの200名余が参加した。東日本大震災被害からの復興の途上であり、単位PTAの活動も様々な課題もあるなかで、気概の溢れる気仙地区PTA連絡協議会と母親委員会、そして地域の有志の方々の応援を得て心に響く、記念すべきセミナー開催となった。



心は心を引き寄せる



気仙地区 母親委員長 大和田 清子

7年振りの開催となる今回の気仙地区セミナーは、講師にラジオDJの山本シユウ氏(以下、レモンさん)をお迎えしました。レモンさんの日頃のご活躍を纏めたDVD上映に続いて客席後方から「ど〜も〜!」と気仙訛りの挨拶で登場するレモンさん。合言葉は「We are シンセキ!」であり、セミナー参加者はレモンさんとの出会いによって「シンセキ」として聴講しました。

ありがとうございましたー26年度末統廃合のPTAー

平成26年度末をもって県内7校が輝かしい校史の幕を下ろします。各学校PTAは、これまで地域の学校教育を支えて頂き、また、様々な面で地域振興の拠り所となる役割を果たして来ました。各学校PTAでは地域のあたたかい支えのもとに歴史を刻んできた伝統を誇りにしつつ、新しい学校で更なる飛躍を願いながら三月末にかけて閉校式や思い出を語る会等の開催が予定されています。岩手県PTA連合会では閉校となる各学

シンセキ意識の欠如はコミュニケーションの崩壊から孤独や孤立をもたらし、より子育てが難しくなる環境を形成してしまっています。これを回避するためにシンセキが行うべき対処法は、ステージ上のホワイトボード3枚に列挙されるキーワードと、豊富なエピソードからなるレモンさん節での解説で更に理解が深まりました。講演時間の超過により、意見交流の時間がカットされるハプニングもありましたが、講演後の握手会では一人一人がレモンさんから直接ビタミンプワーを受け取り、笑顔の花を咲かせながらお開きとなりました。

子どもたちが安全に安心してインターネットを利用するために

保護者の理解と見守りが、子どもたちを守ります。
 ★保護者が出来る3つのポイント★

- 発達段階に応じて、-----
- ①適切にインターネットを利用させる。
 - ②家庭にルールを子どもと一緒に作る。
 - ③フィルタリングなどを設定する。
-

子どもたちの将来のために

インターネットを「使いこなす力」はこれからの社会で必要不可欠。交通安全ルールと同じように、自分自身を守りながら、賢く、有効に使わせましょう。そのためには、子どもたちの成長にあわせて、インターネットに関する知識・技術・情報モラルやコミュニケーション能力をそれぞれ身に付けさせることが大切です。
 (安心ネットづくり促進協議会資料から抜粋)

 山目中学校 (会長 西村 慎太郎) 中里中学校 (会長 菊地 理恵)	 浮島小学校 (会長 三浦 勝利)	統合 一方井小学校へ (二関市)
 川井西小学校 (会長 佐々木 信吾)	 江繋小学校 (会長 山口 一也)	統合 川井小学校へ (宮古市)
統合 磐井中学校へ 新設 日形小学校 (会長 小野寺 誠二)	統合 老松小学校へ	

市町村PTA連合会の活動報告

洋野町PTA連合会 会員に多様な学びの機会を

洋野町PTA連合会では、例年、研究大会を開催し、会員の皆様に学習機会を提供させていただいております。

今年度は県のPTA研究大会が東北ブロック大会にあたることや、教育振興運動50周年記念大会が開催されることから、町P連としての研究大会の開催を見送りました。

その予算で各校の会員の皆様に各大会に参加いただきました。参加された会員の皆様からは「普段は聞くことのできない話をたくさん聞くことができた」「まだまだやらなければならぬことがたくさんあると感じた」等の前向きな感想をいただきました。



今後も多様な研修機会を考へて行きたいと思っております。(会長 番沢 鋭治)

軽米町PTA連合会

本年度の活動から

軽米町PTA連合会は、軽米町内の小学校三校と中学校一校の会員約六百人で活動しています。軽米町も少子化の影響は大きく、ここ十年

で学校数が十二校から四校に激減しました。特に、昨年度は、町内四中学校が一校・笹渡小が小軽米小に

統合になり、町P連の役員数も大きく変わるため、町P連の規約改正や活動の在り方について話し合いを重ねました。軽米町独自の取組として「ノーメディア運動」を推進しています。広報や町有線放送で呼びかけ、家庭の協力をいただいています。また、二月に軽米町教育振興集約集会和併せて各単PTAの実践発表と町P連年次表彰式を行っています。(会長 大崎 純也)



大船渡市PTA連合会 今年度の活動の様子

大船渡市PTA連合会では、震災以降、それまで行っていた教育講演会等を開催することができずにいました。しかし、今年度は市PTA連合会が主管として家庭教育セミナーを実施することになったことから、県と地区Pからのご指導やご支援を頂き、12月に開催いたしました。内容については実行委員会でも様々な意見が出されましたが、「子育てに関する元氣の出る話を聞きたい。」という要望が大へん多かったことと「自由な雰囲気の中で講師と来場者との意見交流を

行いたい。」という意見から、ラジオDJの山本シユウ氏を招いた講演にしました。大へんテンポの良い口調と笑いの中から、自身の子育てを振り返ることのできるたくさんの方の示唆が含まれた講演で、参加者からは「自分の意識を変えていきたい。」「また聞きたい。」などと絶賛する声寄せられました。(会長 金子 正勝)



平成27年度 「三行詩コンクール」 募集のお知らせ

「岩手県PTA三行詩コンクール」と「楽しい子育て全国キャンペーン三行詩募集」の審査を併せて実施。県コンクール各都府県(小学校・中学校・一般)上位入賞5作品を日本PTA全国協議会へ推薦。

応募方法 文部科学省から配布される応募用紙に作成された作品と所要事項を記入して岩手県P連宛て送付。

応募期間 平成27年7月10日～9月10日(予定)
※詳細は後日お知らせいたします。

表彰 各部(小学校・中学校・一般)ごとに最優秀賞1作品、優秀賞、優良賞、奨励賞、各若干数を表彰。

表彰式 平成27年11月29日(日) 岩手県PTA連合会年次表彰式

平成27年度 「広報コンクール」 募集のお知らせ

「岩手県PTA広報コンクール」と「全国小・中学校PTA広報紙コンクール」を並行して審査し、県コンクール小学校上位入賞6作品・中学校上位入賞4作品を全国コンクール第1次審査通過作品として日本PTA全国協議会へ推薦。

応募方法 平成26年度発行の広報紙1年分(年間2回以上発行)2セットを岩手県P連宛て送付。

応募締切 平成27年4月28日(審査 平成27年5月13日(水))

表彰 各部ごとに最優秀賞各1作品、優秀賞、優良賞、奨励賞各若干数

表彰式 平成27年11月29日(日) 岩手県PTA連合会年次表彰式

「ガキ大将がいた時代の遊び」を復活させよう！ ～すべては子どもたちの笑顔のために～

みうら小児科医院・院長 三浦 義孝

昭和29年3月生まれの私が小学校に入った頃は、まだガキ大将がいた時代でした。ガキ大将に統率され、町内の路地裏や空き地に集まり、いろいろな遊びに熱中しました。遊び道具は年長の子のを見て自分で工夫し、メンコやクグ遊び、ビーダマなど、暗くなるまで一生懸命遊んでいました。時には危険な遊びもりましたが、その遊び集団の中で、自分のいたらない部分に気づいたり、「相手を思いやる心」「いたわる心」「我慢をする心」が知らず知らずのうちに身につけていったように思います。そうしたガキ大将も、私が小学6年生になる頃には居なくなっていました。Sケンなどのちよつとした体と体のぶつかり合いがある遊びも、ハラハラ、ドキドキするような遊びが取りあげられていきました。ですので、私は昔な

がらの「子ども社会」の最後の時代を過ごしたと思っています。親たちもまた、おとな社会と子ども社会に一線を画し、あまり立ち入ることもしなかつたように思います。子ども社会には、おとな社会と違う、子どもたちの集団のルールがあつたのです。



今の子どもたちをとりまく環境は、言うまでもなく、仲間との集団遊びや外遊びが難しい状況です。こうした人や自然との直接体験が少なくなると、前述したような「思いやる心」や「我慢する心」を育む機会が失われていると

も言えます。さらに深刻なのは、塾通いなどにより友だちと遊ぶ時間が無くなり、テレビゲームや携帯型ゲーム機に熱中する時間が増え、生きた生身の人間とのつきあいがなくなっている状況です。最近では、携帯電話やスマートフォンも問題となつていきます。小児科医として子どもたちと接していても、あまり笑わなかつたり、コミュニケーションが苦手な子ども、落ち着きがなかつたり、同じ年代の子どもの中に入つていけない子どもが目につきます。「思いやる心」や「我慢する心」よりも前の段階で、気持ちや心を開けない子どもたちが増えているように思えます。

言葉が出てこなかつたり、

発語の遅い子どもたちを診るたびに、「母親は母乳を与えるときに、子どもの目を見て話しかけていたか。テレビを見たり、スマートフォンを触りながらではなかつたか」などと、親のライフスタイルも心配になります。

私は、自分の子どもが小学生の時から、一緒にキャンプなどのレクリエーション活動に積極的に参加しました。初めてのキャンプでは、ペットボトルを使ってランタンを作

り、ロウソク2本持つて夜の山に登りました。それだけでも、子どもたちにとつては冒険です。頂上に着くと星座が輝き、大人のリーダーが「夏の大三角形」を教えてくれました。ある野外活動では、西洋タンポポと日本タンポポの違いを学び、その後、タンポポを天ぷらにして食べたりました。どの活動も子どもたちを惹きつけ、楽しさによって心を開き、チャレンジすることを通して仲間と積極的にいかかり、達成感を得ていました。



いつの時代でも、人は人とかかわりの中で生きていきます。かつてのような集団遊びや外遊びがなくなり、生身の人間とのつきあいが少なくなつてしまった今の子どもたちには、意図的に遊び仲間集

団を復活させ、自然体験や社会体験を提供し、心を開き、相手を思いやる心や忍耐力を育む必要があると思います。仲間とのふれあいや、「できた！」という達成感を感じ、集団の中の自己肯定感を持つような遊びを提供することが大切です。そういう遊びこそ、「ガキ大将がいた時代の遊び」が有効なのです。少しくらのスリ傷は大丈夫、思いきり遊ぶ子どもを見守る姿勢も大事です。今のお父さん、お母さんたちは、もう体験していないかもしれません。「昔の遊び」を知っている私の世代の大人たちが、もっと頑張らなければいけないのです。「すべては子どもたちの笑顔のために」です。

※図＝遠藤ケイ（こども遊び大全・新宿書房）より抜粋

プロフィール

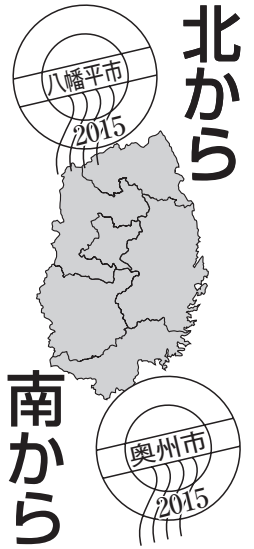
三浦 義孝
(みうら よしたか)

みうら小児科医院
院長。岩手県小児
科医会会長、日本
保育園保健協議会
副会長、岩手医科
大学小児科学講座
非常勤講師。小児
の事故防止、心肺



蘇生法普及啓発、小児の健全育成活動に積極的に取り組んでいる。

特色あるPTA



新生安代中学校PTA「一致団結」

八幡平市立安代中学校PTA

八幡平市の北部に位置する安代中学校は、昨年度、田山中学校と統合し、新生安代中学校となり、学区も安比高原の麓から秋田県境までと広域になりました。学校の正面に秀峰「七時雨山」を仰ぎ見、学区内には東流する安比川と西流する米代川が貝梨峠(分水嶺)を挟んで流れており、子ども達は自然豊かな環境の中で、伸び伸びと育っています。

PTA会員数は、保護者と教職員を合わせて93名で、三つの専門部「教養部」「福祉部」「保健環境部」が活動の主体となっています。

教養部は、高校視察研修の企画・PTA広報の発行・各種研修会への参加。

福祉部は、地区懇談会の開催・生徒の地区奉仕活動への協力・学校林体験学習での豚汁づくり。



保健環境部は、運動会での後方支援・校舎内外の環境整備・学校林体験学習での下草刈りの協力を主に行っています。PTA活動の中でも、特徴的なものに平成10年から取り組ん

でいる学校林(名称…ふれあいの森)を活用した森林体験学習への協力があります。

今年度は、8月31日に学校林「ふれあいの森」(約6・2畝)の下草刈りを総勢50名を超える保護者会員の協力の下に子どもたちと一緒にを行いました。保健環境部が主体となって、約30台の草刈り機械で下草刈りを行い、

子どもたちに笑顔を

奥州市立姉体小学校PTA

姉体小学校PTAは、「子どもたちに笑顔を」を合い言葉に会員167名(内教職員14名)で活動しています。

PTAは、学年PTAと4つの専門部(教養部・施設部・厚生部・校外生活部)があり、年度当初に開かれる各専門部会で企画立案した事業を展開しています。

どの専門部でも子どもたちの健全育成を第一に、家庭、学校、地域が一体となって活動しています。今回は、各専門部の活動の一端を紹介します。

教養部は、絵本の読み聞かせ活動を行っています。読み聞かせがある日は、業間時間に子どもたちが図書室に集まり、お母さんやお父さんの読む絵本に目を輝かせています。

お昼には、福祉部員が大鍋で調理した約150人分の豚汁をきれいに刈ったばかりの学校林で子ども達と一緒に食べました。

今後も子ども達の明るい未来を縁の下で支える組織として、会員みんなで「一致団結」し、新生安代中学校PTAの活動を推進していきたいと考えています。(会長 宮野俊一)

施設部は、リユース活動です。

「エコレンジャー☆おさがり隊」と命名し、小さくなってしまった運動着、使わなくなった自転車用ヘルメットや鍵盤ハーモニカ等各家庭で不用になったものを寄付していただき、必要な方へ格安で販売しています。

厚生部は、心肺蘇生法講習会を実施しています。夏休み中のプール監視活動に備えて、多くの方に参加してもらえようと呼びかけたり、当日の運営を行ったりしています。子どもたちの安全を守る大切な活動と位置づけています。

校外生活部は、親子クリーン作戦を実施しています。通学路のごみを拾ったり、地域の遊び場である公園や神社の草取り、



集会所の掃除など親子のふれあいを深めながら活動を行っています。

子どもたちの笑顔と安全のため、これからも家庭、学校、地域が一体となって活動していきたいと考えています。(会長 千枝宗貴)

表紙「写真説明」

滝沢市立滝沢小学校PTA
本校は、児童数900名、PTA会員数690名の大規模校です。写真は、5学年PTA行事恒例の「収穫祭」です。地域の方に、田んぼをお借りし、農作業指導の協力もお願いしました。この行事は、16年連続して開催されている伝統行事です。この他に、本校のPTA活動の特徴として、「ドッジボール大会」や「子供会リーダー研修会」があります。これまで継承してきた行事を大事にしながらかつ活動しています。(会長 佐藤正和)